2018 年秋。日本中の感動を呼んだ名作映画が待望の舞台化

こまつ座「戦後“命”の三部作」第三弾

こまつ座 第 124 回公演　紀伊國屋書店提携

母と暮せば

畑澤 聖悟　作／栗山 民也　演出

出 演　　富田靖子　　松下洸平

2018 年 10 月 5 日(金)～21 日(日)

東京公演 紀伊國屋ホール

地方公演 茨城・岩手・滋賀・千葉・愛知・埼玉・兵庫にて上演予定

◇◇◇◇この作品に関するお問い合わせ◇◇◇◇
こまつ座　制作部（若林、遠山、嶋）　TEL03 - 3851 - 5165
〒111-0052　東京都台東区柳橋 1-30-5-503

平和を願うすべての人に捧げる、

こまつ座「戦後“命”の三部作」堂々完成。

劇団こまつ座は井上ひさし作品を中心とした演劇活動を続け、本年で35年目を迎えました。数ある作品の中でも、故井上ひさし自身が上演し続けて欲しいと願った作品の一つが、1948年のヒロシマでの父娘の物語、*『父と暮せば』*です。生き残ったことに罪悪感を抱きながらひっそりと暮らす娘の元に、原爆で死んだはずの父が現れて娘の恋を応援する、という二人芝居の感動作です。

井上ひさしは、新作として沖縄、長崎を舞台にした作品も書く予定でしたが、構想途中のまま2010年4月にこの世を去りました。その後、私たちは井上ひさしが遺した種を大切に育て、その遺志を汲んで新たな作品を制作して参りました。

2013年、オキナワの「今」を見つめた作品*『木の上の軍隊』*（蓬莱竜太作）を発表。2016年にはこまつ座公演として再演を果たしました。

2015年には、井上ひさしが長年願った『父と暮せば』の対になる作品を残す、という構想を受け継ぎ、名匠・山田洋次監督が製作し大ヒットを記録した*映画「母と暮せば」*。長崎で被爆した母と亡き息子の幽霊の交流をつづった監督初のファンタジー作品は大きな話題と深い感動をよび、数多くの賞を受賞いたしました。

そして2018年秋。山田洋次監督の監修のもと、「母と暮せば」がついに、素晴らしい出演者、スタッフを迎えて舞台作品に生まれ変わります。映画の流れを汲みながら、舞台『父と暮せば』、『木の上の軍隊』に次ぐ、**こまつ座「戦後“命”の三部作」第三弾**として、母と息子、そしてすべての「命」をつなぐ、深く温かい物語をお届けします。

母の思いが、母への思いが、胸を打つ。

1948年8月9日。長崎で助産婦をして暮らす母親の前に、3年前に原爆で死んだ息子が亡霊となってひょっこり現れる。その日から、息子は時々母親の前に現れて言葉を交わすようになる。奇妙だけれど、喜びに満ちた二人だけの時間は永遠に続くようにみえた――。

名作の舞台化に豪華キャスト、スタッフが結集

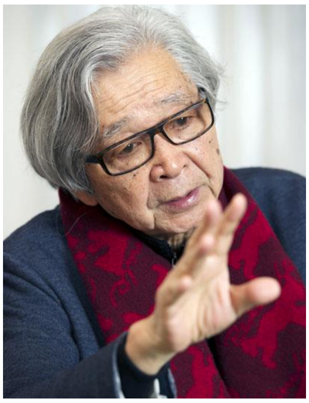
劇作に近年注目を集め続けている書き手、**畑澤聖悟氏**をお迎えします。演出は、『木の上の軍隊』や数々の井上作品を演出してきた**栗山民也氏**。監修に**山田洋次監督**。

そして母親役には、久しぶりの舞台出演となる**富田靖子**さんです。演出・栗山氏も絶大な信頼を置く情感豊かな演技力をもって、気丈に見えながらも内面は深い悲しみに潰されぬようと闘い続けてきた母親が、亡き息子との邂逅で大きな変化を迎える姿を、富田靖子さんが温かくやわらかに演じる姿が期待されます。

息子役には2016年の『木の上の軍隊』の新兵役も記憶に新しい**松下洸平**さんです。今もっとも実力のある若手俳優のひとりである松下洸平さんも並々ならぬ決意でこの作品に挑んでくださいます。平和への願いを込めて、上演します。どうぞご期待ください。

◇◇◇◇この作品に関するお問い合わせ◇◇◇◇
こまつ座　制作部（若林、遠山、嶋）　TEL03 - 3851 - 5165
〒111-0052　東京都台東区柳橋 1-30-5-503

【監修】 山田洋次 （映画監督）



1931 年生まれ。大阪府出身。54 年東京大学法学部卒。同年、助監督として松竹入社。61 年『二階の他人』で監督デビュー。69 年『男はつらいよ』シリーズ開始。以降、70 年『家族』、72 年『故郷』、75 年『同胞』、77 年『幸福の黄色いハンカチ』、91 年『息子』、93 年『学校』など多数の代表作がある。02 年『たそがれ清兵衛』では日本の映画賞を総なめにし、米国アカデミー賞外国語映画部門ノミネートを果たす。06 年『武士の一分』の大ヒットに続き、07 年『母べえ』はベルリン国際映画祭コンペンション部門に出品。09 年『おとうと』では同映画祭の特別功労賞にあたるベルリナーレ・カメラを、13 年『小さいおうち』では銀熊賞を受賞した。08 年より日本藝術院会員、12 年に文化勲章受章。

【作】 畑澤聖悟

1964 年秋田県生まれ。劇作家・演出家。劇団「渡辺源四郎商店」主宰。青森市を本拠地に全国的な演劇活動公演を行っている。2005 年『俺の屍を越えていけ』で日本劇作家大会短編戯曲コンクール最優秀賞受賞。『親の顔が見たい』が 2017 年、20 世紀フォックスコリアによって映画化。ラジオドラマの脚本で文化庁芸術祭大賞、ギャラクシー大賞、日本民間放送連盟賞などなど受賞。

現役高校教諭で演劇部顧問。指導した青森中央高校と弘前中央高校を 9 度の全国大会に導き、最優秀賞 3 回、優秀賞 5 回受賞している。

【演出】 栗山民也

東京都町田市出身。75 年早稲田大学演劇学科卒業、80 年サミュエル・ベケット『ゴドーを待ちながら』で演出家デビュー。その後、井上ひさし『日本人のへそ』『國語元年』『闇に咲く花』『黙阿彌オペラ』などを演出、演出家として注目を集める。96 年『GHETTO　ゲットー』（ジョシュア・ソボル作）の演出で紀伊國屋演劇賞、読売演劇大賞最優秀演出家賞、芸術選奨新人賞を受賞。98 年新国立劇場芸術参与、99 年『エヴァ・帰りのない旅』（ダイアン・サミュエルズ作）で毎日芸術賞、第 1 回千田是也賞、読売演劇大賞最優秀演出家賞受賞、2000 年新国立劇場演劇部門芸術監督、02 年、第 1 回朝日舞台芸術賞舞台芸術賞受賞、『喪服の似合うエレクトラ』（ユージン・オニール作）で朝日舞台芸術賞グランプリ受賞。近年の主な演出作品に『頭痛肩こり樋口一葉』『木の上の軍隊』（こまつ座）、『アドルフに告ぐ』『母と惑星について、および自転する女たちの記録』『DISGRACED』など

【スタッフ】

音楽　国広和毅　　美術　長田佳代子　　照明　小笠原 純　　音響　山本浩一
衣裳　前田文子　　ヘアメイク　鎌田直樹　　方言指導　柄澤りつ子　　宣伝美術　安野光雅
演出助手　坪井彰宏　　舞台監督　村田旬作
企画・制作統括　井上麻矢　　制作　若林潤　遠山ちあき　嶋拓哉

協力・監修　山田洋次
協賛　松竹ブロードキャスティング株式会社　株式会社リマインド

◇◇◇◇この作品に関するお問い合わせ◇◇◇◇
こまつ座　制作部（若林、遠山、嶋）　TEL03 - 3851 - 5165
〒111-0052　東京都台東区柳橋 1-30-5-503

【出演】

富田 靖子(とみた やすこ)　　　　　　　　　　　　　　母　役

福岡県出身。1983年『アイコ十六歳』(今関あきよし監督) で映画デビュー。同作において日本アカデミー賞・新人俳優賞を受賞し注目を集める。1985年には『さびしんぼう』(大林信彦監督) に主演。
〈主な作品〉【ドラマ】『なんて素敵にジャパネスク』(NTV)、『赤ちゃんに乾杯！』(TBS)、『悲しみだけが夢を見る』(NHK)、『はじめまして、愛しています。』(EX)、『逃げるは恥だが役に立つ』(TBS)、【映画】『ほんの５g』(太田圭監督)、『マイフェニックス』(西河克己監督)『あ・うん』(降旗康男監督)、『君に届け』(熊沢尚人監督)、『鈴木先生』(河合勇人監督)、『もらとりあむタマ子』(山下敦弘監督)、『もういちど』(板屋宏幸監督)、『超高速!参勤交代リターンズ』(本木克英監督)など多数。
舞台出演は2011年、『炎の人』(演出：栗山民也) 以来7年ぶりである。今回こまつ座初出演となる。アミューズ所属。

松下 洸平(まつした こうへい)　　　　　　　　　　　　息子　役

東京都出身。2008 年、自作曲に合わせて絵を描きながら歌を歌う Performance を開始。「ペインティングライター」として都内及び関東近郊でライブ活動を行い、同年、11 月 5 日、「STANDING　UP！」で CD デビュー。09 年から TV・舞台と活動の幅を更に広げる。
〈主な作品〉【舞台】『テロ』(演出：森新太郎)、『ラディアント・ベイビー～キース・ヘリングの生涯～』(演出：岸谷五朗)、『九条丸家の殺人事件』(演出：オークラ)『アドルフに告ぐ』『スリル・ミー』(演出：栗山民也)、ミュージカル『next to normal』(演出：マイケル・グライフ)、音楽劇『リタルダンド』(演出：G２)『十九歳のジェイコブ』(演出：松本雄吉) など多数。
【TV】『無痛～診える眼～』『デート～恋とはどんなものかしら～』(CX)、『ホテルコンシェルジュ』(TBS)、『ダークスーツ』(NHK)、『素敵な選 TAXI』(KTV) など。こまつ座へは2016年『木の上の軍隊』(演出：栗山民也) に出演。キューブ所属。

◇◇◇◇この作品に関するお問い合わせ◇◇◇◇
こまつ座　制作部（若林、遠山、嶋）　TEL03 - 3851 - 5165
〒111-0052　東京都台東区柳橋 1-30-5-503

◆公演概要◆

＜東京公演＞

10月	5 金	6 土	7 日	8 月	9 火	10 水	11 木	12 金	13 土	14 日	15 月	16 火	17 水	18 木	19 金	20 土	21 日
ヒル		2:00 ★	2:00	2:00			2:00	2:00	2:00 ★	2:00		2:00	2:00 ★	2:00		2:00	2:00
ヨル	7:00	7:00				7:00			7:00						7:00	7:00	

公演日程　　2018年　10月5日（金）～21日（日）

会場　　紀伊國屋ホール

前売開始　　2018年　8月4日　前売開始

入場料　　6,000円／U-30 3,500円（全席指定・税込み）　※U-30…観劇時30歳以下

発売　　こまつ座　03-3862-5941　http://www.komatsuza.co.jp/

チケットスペース　03 - 3234 - 9999

チケットぴあ、ローソンチケット、イープラス、キノチケットカウンター、他にて発売

その他チケットについてのお問い合わせ　　こまつ座　03-3862-5941

宣伝に関するお問い合わせ　　こまつ座　03-3851-5165（制作部）

スペシャルトークショー

★10月 6日(土)　2:00公演後　畑澤聖悟（劇作家）

★10月13日(土)　2:00公演後　青来有一(小説家)

★10月17日(水)　2:00公演後　富田靖子　松下洸平

※　アフタートークショーは、開催日以外の『母と暮せば』のチケットをお持ちの方でもご入場いただけます。
ただし、満席になり次第ご入場を締め切らせていただくことがございます。　※　出演者は都合により変更の可能性がございます。

＜地方公演＞

・水戸公演　　10月27日（土）　　水戸芸術館

・岩手公演　　11月3日　（土・祝）　花巻市文化会館

・滋賀公演　　11月17日（土）　　滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール

・千葉公演　　11月23日（金・祝）　市川市文化会館

・愛知公演　　12月1日　（土）　　春日井市東部市民センター

・埼玉公演　　12月8日　（土）　　草加市文化会館

・兵庫公演　　12月11日（土）　　兵庫県立芸術文化センター

◇◇◇◇この作品に関するお問い合わせ◇◇◇◇
こまつ座　制作部（若林、遠山、嶋）　TEL03 - 3851 - 5165
〒111-0052　東京都台東区柳橋 1-30-5-503